

報道関係者各位

2019年7月25日

株式会社鈴商

テングブランド初！サマークタンペーン実施 インスタグラムからの応募で ビーフステーキジャーキーの詰め合わせが50名に当たる 応募期間 7月25日～9月8日

食料品の輸入販売・卸を行う株式会社鈴商（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：鈴木基司）は、自社が製造・販売する『テング ビーフステーキジャーキー』のサマークタンペーンを2019年7月25日（木）～9月8日（日）の期間で実施します。

●令和最初の夏・創業100周年目に、テングブランド初のサマークタンペーン実施

当社は、令和元年である今年12月に、創業100周年を迎える、テングブランドの取扱い開始からも36年を数えます。新しい時代の門出に相応しい、パワーアップしたブランドイメージの確立を目指し、テングブランド初のサマークタンペーンを実施します。

【テング サマークタンペーン概要】

開催期間：2019年7月25日（木）～9月8日（日）

応募方法：インスタグラムで『テング ビーフステーキジャーキー』のアカウント「tengu_jerky」をフォローし、指定の「サマークタンペーンイメージ画像」、または「夏の思い出」をテーマにして撮影した写真のどちらかに、ハッシュタグ「#テングサマー」をつけて投稿

賞品：抽選で50名に『テング ビーフステーキジャーキー』4種10袋の詰め合わせセットをプレゼント

通知方法：当選者にはインスタグラムのダイレクトメッセージでご連絡いたします

キャンペーン詳細 URL：<https://www.suzusho.co.jp/tengu-s/sc/>



指定の「サマークタンペーンイメージ画像」



左から、50%減塩、レギュラー、ホット、激辛

■各地でサンプリングも同時開催 若年層へのさらなる認知拡大を



サンプリング商品

テングブランドは、以前からの本物志向のファンには懐かしい逸品として知られていますが、近年では体型に気を使う若い世代にも良質なタンパク質が簡単に摂取でき効率よく筋肉の成長をサポートし、よく噛むことで腹持ちもよく満腹中枢に働きかける効果も期待できるなど、健康志向のおつまみとして、新たな需要を掘り起こしています。そこで、若年層へのさらなる認知拡大を目的に、テング サマークタンペーンと同時期に、オリジナルサマーデザインパッケージ（サマークタンペーンQRコード付き）の『テング ビーフステーキジャーキー』（10g、サンプル）を、数量限定で配布します。（なくなり次第終了）。配布場所は下記を予定しています。

【配布場所】

1. 大阪水嶋書房（一部店舗での実施）
 - ・日時：2019年7月25日（木）～
 - ・配布対象：書籍を購入の小学生（親同伴に限る）から大学生
2. ホットヨガ スタジオ カルド（一部店舗での実施）
 - ・日時：2019年7月27日（土）～
 - ・配布対象：女性会員
3. 毎日新聞社主催 第98回毎日テニス選手権
 - ・日時：2019年8月19日（月）～
 - ・配布対象：18歳以下ジュニアクラス参加者

株式会社鈴商は、これからも、長年愛され続けてきた『テング ビーフステーキジャーキー』の伝統の醤油味を継承しつつ、新たなターゲット層に向けた商品開発を積極的に行うことで、年齢を問わず広く支持される商品の提供を目指し取り組んでいきます。

【販路】

輸入食品取扱店、酒類小売店、量販店、インターネット販売等

【商品に関するお問い合わせ先】

株式会社 鈴商 営業部推進課

電話番号：03-3225-1161

ホームページお問い合わせフォーム

お客様専用 <https://www.suzusho.co.jp/customer/>

法人様専用 <https://www.suzusho.co.jp/company/>

【会社概要】

社 名：株式会社 鈴商

代 表：代表取締役社長 鈴木 基司

本社所在地：東京都新宿区荒木町23

U R L：<https://www.suzusho.co.jp>

資 本 金：84,000,000円

従 業 員 数：50人

事 業 内 容：食料品及び酒類の輸入販売及び卸

今後の展開：株式会社鈴商は、1919年（大正8年）にシロップの製造と販売により創業し、今年で100周年を迎え、独自の販売とサービスにより、常に優れた品質の食品と食の美味しさと豊かさをお届けしてきました。

これからも世界中の新しい美味しさ、品質の確かな商品、愛される味を追求し、卓越した食品を日本の皆様にお届けして参ります。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社 鈴商 営業部推進課

担 当：益子・井口

電 話：03-3225-1165

F A X：03-3225-5520

E-mail：mashiko@suzusho.co.jp

鈴商 広報事務局

担 当：福士

電 話：03-5411-0066

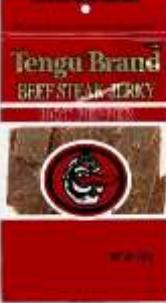
携 帯：080-6538-6292

E-mail：pr@netamoto.co.jp

参考資料

【商品ラインアップ】

品名	スタンダードタイプ			薄切りタイプ	ミディアムチャック
特長	厳選された牛肉を使用し、醤油をベースとした味付けのビーフジャーキーです。 しっかりとした歯ごたえでビール等のおつまみに最適です。			薄いスライスタイプ 醤油をベースとした味付け	細かいカットタイプ 醤油をベースとした味付け
					
価格	400 円(税別)	750 円(税別)	1,400 円(税別)	1,400 円(税別)	1,800 円(税別)
容量	25g	50g	100g	100g	160g
原産国	日本	日本	日本	日本	日本

品名	ホット			50%減塩
特長	醤油をベースに、ピリッと胡椒の効いた辛い味付けの ビーフジャーキーです。	ミディアムチャック	激辛	スタンダードの塩分 50%
	細かいカットタイプ			
				
価格	750 円(税別)	1,400 円(税別)	1,800 円(税別)	1,400 円(税別)
容量	50g	100g	160g	80g
原産国	日本	日本	日本	日本

品名	パイツ	アサヒテングビーフジャーキーカレー	ミッドリーフ
特長	スタンダード ホット 食べやすいひと口サイズです。	レギュラー ホット 細切れのビーフジャーキーが具のレトルトカレー	コーンチップス テングビーフジャーキー味
			
			
価格	398 円(税別)	398 円(税別)	360 円(税別)
容量	35g	35g	200g
原産国	ウルグアイ	ウルグアイ	日本
			
			
価格	398 円(税別)	398 円(税別)	360 円(税別)
容量	35g	35g	200g
原産国	ウルグアイ	ウルグアイ	日本

【主力商品概要】

ロングセラーのテングブランドの定番は「レギュラータイプ」！

品名 : テング ビーフステーキジャーキー レギュラー
内容量 : 100g
価格 : 1,400 円 (税別)
賞味期間 : 9 ヶ月
原産国 : 日本
原材料 : 牛肉、醤油、砂糖、食塩、胡椒、オニオン末、ガーリック末、
 しょうが、酸化防止剤 (エリソルビン酸 Na)、調味料 (アミノ酸)
 発色剤 (亜硝酸 Na)

アレルギー情報 : 小麦、大豆を含む商品です。



●テングブランドの歴史

<「テングブランド」こだわりの醤油味を生み出したのは、日系 2 世>

テングブランドの創業者であるケン大崎氏は、1921 年日系移民 2 世としてアメリカ・ロサンゼルス郊外に生まれました。23 歳の時、アメリカへの忠誠を証する為、日系人米国陸軍部隊“442 部隊”に志願し、戦地に赴きます。日本人特有の忠誠心とプライドは、送られた欧州戦線でしっかりと証明され、442 部隊は米国陸軍史上最も勇敢な部隊のひとつとして今なお語り継がれています。戦地で負傷しながらも帰国したケン大崎氏は、戦後、父の豆腐屋を継ぎながらテング社を創設しました。漬物販売、冷凍食品加工などの事業を展開する傍ら、独自開発を行い、1970 年代半ば、遂に日本人が美味しく食べられる醤油味によるビーフジャーキーを創り出します。それが『テング ビーフステーキジャーキー』です。アメリカ先住民の保存の知恵と日本の伝統的な発酵食品の知恵である「醤油」の組合せが人気の味覚を生み出したのです。

彼のビーフステーキジャーキーへのこだわりは、醤油味と良質のステーキ用肉を使う事でした。日本人の繊細な味覚と材料への徹底したこだわりが功を奏して、『テング ビーフステーキジャーキー』はリトル東京を始めとする日系人社会でたちまち評判となります。すぐに日本人旅行者の間で人気のお土産として有名になりました。



<先代社長が熱い想いで直接交渉し、独占契約が実現>

鈴商の先代社長が『テング ビーフステーキジャーキー』を初めて口にしたのは、アメリカに留学していた友人からのお土産でした。そのあまりの美味しさに何としても輸入販売したいという熱い想いでケン大崎氏に直接交渉しました。その熱意と当時保有する輸入権から独占契約が実現し、1983 年から販売を開始することになりました。当時、米国土産で既に評判で、その美味しさは本物の味として世に知れ渡り、日本でもピーク時は 22 億円の売上がありました。

<ビーフステーキジャーキーの転機・狂牛病問題からの復活は、国産へのシフト>

転機は 2003 年に発生した狂牛病 (BSE) 問題です。牛肉の加工食品も輸入が禁止され、大量の商品が自主回収処分や販売中止となり、当社にとって膨大な損失でした。そればかりか、海外の工場が廃止となり輸入販売が不能となります。その後も新しい製造工場を求める転々とするものの、こだわりの味の再現が上手くいかず、約 10 年間、低迷期が続くことになりました。

2013 年アメリカ産牛肉の輸入規制の緩和や、2015 年オーストラリア産牛肉の輸入関税引き下げなどの影響もあり、現在は、原材料は海外の牛肉で、製造は日本工場と一部をウルグアイ工場で行い、安定した製造と流通が確保されています。輸入品と思われている『テング ビーフステーキジャーキー』は実は現在国産で製造し、プレミアムな味を今も変わらず受け継いでいます。2019 年現在は、タンパク質が豊富な“健康系おつまみ”や“ヘルシー スナッキング”として人気で、6 年連続出荷数を伸ばしています。